

elan 日本の新進作家展 vol. 10
Contemporary Japanese Photography
photographic
写真の飛躍



そこに原点がある。

【観覧料】●一般 700 (560) 円 / 学生 600 (480) 円 / 中高生・65歳以上 500 (400) 円 ()は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員
●小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ●第3水曜日は65歳以上無料
【開館時間】●10:00~18:00 (木・金は20:00まで) ●ただし2012年1月2日・3日は11:00~18:00、入館は閉館の30分前まで
【休館日】●毎週月曜日 (1月9日祝日は開館、翌10日閉館)、12月29日~2012年1月1日、1月4日
【主催】●公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 / 東京新聞 【協賛】●/HI/EIDO / 東京都写真美術館支援会員
【協力】●有限会社フォトグラファーズ・ラボラトリー 【会場】●東京都写真美術館2F展示室

恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography
www.syabi.com

12/10 1/29
2011 sat 2012 sun

elan 日本の新進作家展 vol. 10
Contemporary Japanese Photography
photographic
写真の飛躍
そこに原点がある。



添野 和幸 (Soeno Kazuyuki)
《酒のフォトグラム》(5c7741) (ピープル、2011年) © Kazuyuki Soeno
1968年神奈川県生まれ、1991年東京造形大学造形学部卒業後、92年同研究生修了。2002年「コニカフォトアワード」24人の新しい写真家登場に選出。2005年賞生堂第12回ADSP授与。2008年フォトギャラリー・インターナショナル等の個展では昆虫の翅を引伸ばし鏡に仕掛けて制作する作品を発表。「第5回造形現代芸術作家展 transmutation」(東京造形大学付属美術館)等グループ展多数。



西野 壮平 (Nishino Sohei)
シリーズ《Diorama Map》より
《Diorama Map Tokyo》2004年3月~7月 © Sohei Nishino
1982年兵庫県生まれ、大阪芸術大学在学中から都市と記憶をテーマに、《Diorama Map》シリーズの制作を始める。2005年、キヤノン写真新世紀優秀賞(南條史生 / 現森美術館館長)受賞。EMON PHOTO GALLERY、Michael Hoppen Gallery (ロンドン)での個展やグループ展。10年ネグ写真ビエンナーレ(韓国)、12年 Helsinki Photography Festival (フィンランド)にて展示予定。



北野 謙 (Kitano Ken)
《our face》より
《アニメのコスプレの少女たち34人を重ねた肖像 / 台北のストリートで》2009年(2010年プリント) © Ken Kitano Courtesy of MEM
1968年東京都生まれ、91年日本大学生産工学部卒業。93年個展「溶ける都市」(L.C.A.C. ウェスタンギャラリー)。96年グループ展「ヤングポートフォリオ展」(清里フォトアートミュージアム)。2006年グループ展「写真の現在」展(東京国立近代美術館)。09年個展「one day」(MEM)。10年個展「our face」(北京市三影堂攝影芸術中心、Gallerie Priska Paquer)等。04年写真の会賞。11年第27回東川写真賞新人賞、第14回回本太郎現代芸術賞特別賞受賞。



佐野 陽一 (Sano Yoichi)
《flow》(水画、木の反映) 2010-11年 © Yoichi Sano
1970年東京都生まれ、1994年東京造形大学造形学部卒業。1996年同研究生修了。2004-05年文化庁新進芸術家国内研修員。「世界を知覚する手がかりとしての写真」をテーマに作品を展開する。アヌメギャラリー、ツァイト・フォト・サロン switch point 等で個展開催。【VOCA 展2004】(上野の森美術館)、他グループ展多数。現在、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科非常勤講師。



春木 麻衣子 (Haruki Maiko)
《either portrait or landscape II》2007年
© Maiko Haruki Courtesy of TARO NASU
1974年、茨城県生まれ、玉川大学在学中 Goldsmiths College, University of London に交換留学 (95-96年)。主な個展は2004年「雨」,05年「yeil」(TARO NASU Gallery, 東京),06年「●」(NADiff, 東京)、10年「possibility in portraiture」(TARO NASU, 東京)等。グループ展は06年「VOCA 展2006」(上野の森美術館, 東京)、「On Recent Landscape」(PHoto Espana06)等。07年「六本木クロッシング2007: 未来への軌跡」展(森美術館, 東京)で特別賞受賞。

第10回を迎える今年の新進作家展は、写真の原点となる手法を生かしながら、現代のさまざまな事象と向き合う作家5名を最新作と共に紹介します。いずれの作家もフォトグラム、ピンホールカメラ、コラージュ、多重露光、露出といった、写真の根源的な手法や特性に着目しながら多彩な作品を制作しています。デジタル画像処理などで想像できる図像はほとんど再現可能になった現在だからこそ、写真メディアの原点に立ち戻ること、感覚や感性の扉を開きつづけてきた視覚そのものを再考するきっかけをつくっているのです。私たちが想像するより複雑で数多の想定外のことが起きる現実と向き合うためにも、これらの作品との出会いが、写真を見るという行為や視覚によって生成される記憶、認識といったものを検証する契機となれば幸いです。これらの表現を受け身になることなく自発的に見て、その中に思考の種をみつけた時、写真ははじめて新たな飛躍の時を迎えられるのではないのでしょうか。

【対談】

佐藤時啓 (美術家、写真家) × 佐野陽一 12月10日 (土)
山崎 博 (写真家) × 添野和幸 12月11日 (日)
中島英樹 (アートディレクター) × 春木麻衣子 12月17日 (土)
大竹昭子 (文筆家) × 北野謙 2012年1月14日 (土)
藤森照信 (建築家) × 西野壮平 2012年1月21日 (土)

【時間】各日とも15時~16時30分
【会場】東京都写真美術館 1階アトリエ
【対象】本展覧会チケットをお持ちの方
【定員】50名
【受付】当日10時より当館1階受付にて整理番号付き入場券を配布します。
【開場】14時45分より、整理番号順入場、自由席。

【フロア・レクチャー】

会期中の第2・第4金曜日14時より担当学芸員による展示解説を行います。展覧会チケット(当日消印)をお持ちの上、展示室入口にお集まりください。
※事業詳細はやむを得る事情で変更することがあります。予めご了承ください。



東京都写真美術館 www.syabi.com
〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3
恵比寿ガーデンプレイス内 TEL.03-3280-0099
■ JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。
■ お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。